

2024年3月13日

「病理組織像で器質化肺炎(organizing pneumonia)を示した疾患の臨床、
画像診断学的検討」
へのご参加のお願い

— 2008年9月から2022年12月の期間に

公立陶生病院において間質性肺炎の診断目的で肺生検を受けられた方へ —

公立陶生病院、関西労災病院、九州大学病院、関西医科大学では、産業医科大学を研究代表機関とし、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(令和3年3月23日制定 令和3年6月30日施行)」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名
病理組織像で器質化肺炎(organizing pneumonia)を示した疾患の臨床、画像診断学的検討
2. 研究期間
2024年3月13日から2025年3月31日
3. 研究機関
産業医科大学 放射線科学
関西労災病院 放射線科
公立陶生病院 呼吸器アレルギー疾患内科
九州大学病院 病理診断科・病理部
関西医科大学 病理学講座
4. 研究責任者
産業医科大学 放射線科学(医師) 青木隆敏 (研究代表者)
関西労災病院 放射線科(医師) 上甲剛

公立陶生病院 呼吸器アレルギー疾患内科(医師) 近藤康博

九州大学病院 病理診断科・病理部(医師) 橋迫美貴子

関西医科大学 病理学講座(医師) 石田佳央理

5. 研究の目的と意義

間質性肺炎の一つに器質化肺炎というパターンがありますが、ひとくくりに器質化肺炎と称される中にも、いくつかの病理学的な亜型があることがわかっています。一方で、この病理学的な亜型への分類が、臨床的にどのような意味があるのか、言い換えると、それぞれの亜型ごとに症状の強さ、症状の進行の程度、治療の効きやすさが違うのか、血液検査やCTなどで得られるデータが違うのか、はまだはっきりとわかっていません。

【目的】 今回の研究の目的は、それぞれの亜型の特徴を評価することです。

【意義】 それぞれの亜型ごとの違いが明らかになれば、検査や症状の強さから、症状の進行の程度、治療の効きやすさの予測につながり、より効果的な治療選択の一助になると考えています。

6. 研究の方法

【対象】 2008年9月から2022年12月までの期間に、公立陶生病院で、間質性肺炎の診断目的で外科的肺生検を実施された後に、多分野での集学的検討(MDD*: Multi-disciplinary discussion)を実施した患者さんを対象とします。

*MDD: Multi-disciplinary discussionとは？

患者さんの実際の治療にあたる呼吸器内科の医師だけでなく、CTなどの画像の分析を専門とする放射線科の医師や、肺生検で得られた病理組織標本の分析を専門とする病理部門の医師が集まり、それぞれの知識を出し合って診断や治療を検討することです。

【方法】 上記の患者さんの病理検査、CT検査の結果や、臨床的な検査(血液検査、呼吸機能検査)、症状に関する情報を取得し、収集されたデータは、産業医科大学若松病院や関西労災病院、九州大学病院、関西医科大学に送付され、評価されます。また、病理検査結果から判断される器質化肺炎の亜型ごとに評価を行います。

7. 個人情報の取り扱い

対象者を特定できる個人情報は一切公表しません。画像データを公立陶生病院の院内サーバーから取り出す際には、対象者が特定できないように患者ID、氏名、検査日などの個人情報は削除して全て匿名化します。

この研究の実施や得られた成果を学会や論文などに発表する場合には、個人を特定できる氏名、住所などの個人情報は一切使用いたしません。また、解析したデータは研究終了後に5年間、または研究成果の最終公表から3年が経過した日のいずれか遅い期間まで産業医科大学若松病院放射線科の鍵付きの棚に保管した後匿名化を確認し、データを復元できないように初期化する等の処理をした上で廃棄します。

この研究に該当する方で、ご自身の診療データ等の使用を希望されない方は、下記担当者へお申し出下さい。その場合、収集データは使用せず、廃棄いたします。

8. 問い合わせ先

事務局：産業医科大学若松病院 放射線科

所在地：〒808-0024 福岡県北九州市若松区浜町 1-17-1 電話：093-761-0090

氏名：上野 碧

職名：助教

9. その他

この研究への参加に対する直接的な利益はありません。また、費用の負担や謝礼もありません。この研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会及び各研究機関の規定により承認を得ており、公正性を保ちます。